

横河電機株式会社 第150回 定時株主総会

2026年6月23日

- 報告事項**
- 1. 第150期（自2025年4月1日 至2026年3月31日）
事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人
及び監査委員会の連結計算書類監査結果報告の件**
 - 2. 第150期（自2025年4月1日 至2026年3月31日）
計算書類の内容報告の件**

- 決議事項**
- 第1号議案 剰余金の処分の件**
 - 第2号議案 取締役11名選任の件**

監査報告

事業報告 23～60頁

計算書類 **連結** 61、62頁

単体 63、64頁

お手許の招集ご通知をご参照ください。

社会課題解決に向けたニーズの高まり

◀ 脱炭素社会の実現に向けた
エネルギー・トランジション等

AIをはじめとするデジタル技術の革新

当社を取り巻く事業環境は大きく変化

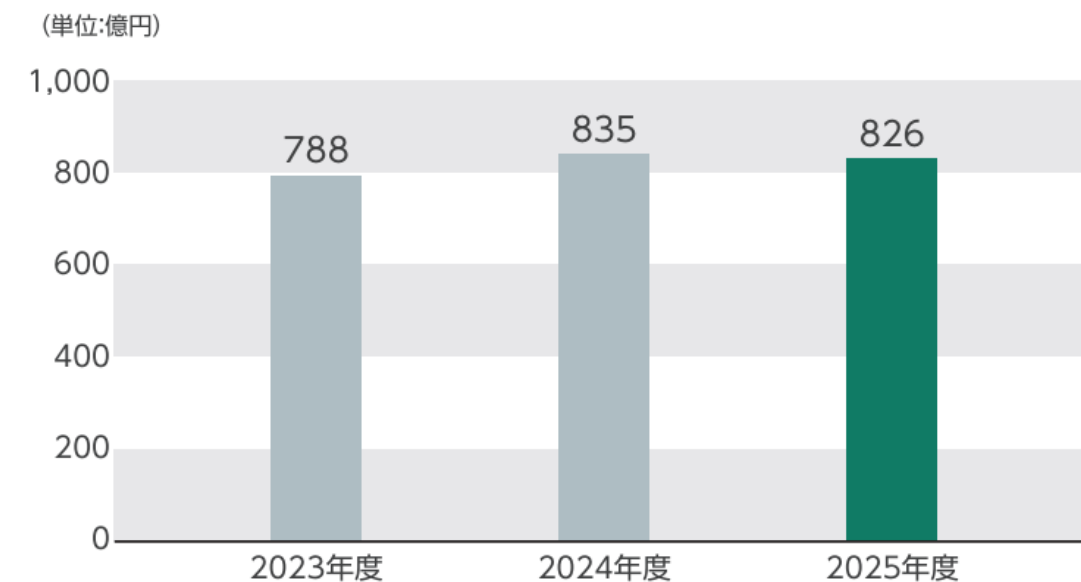
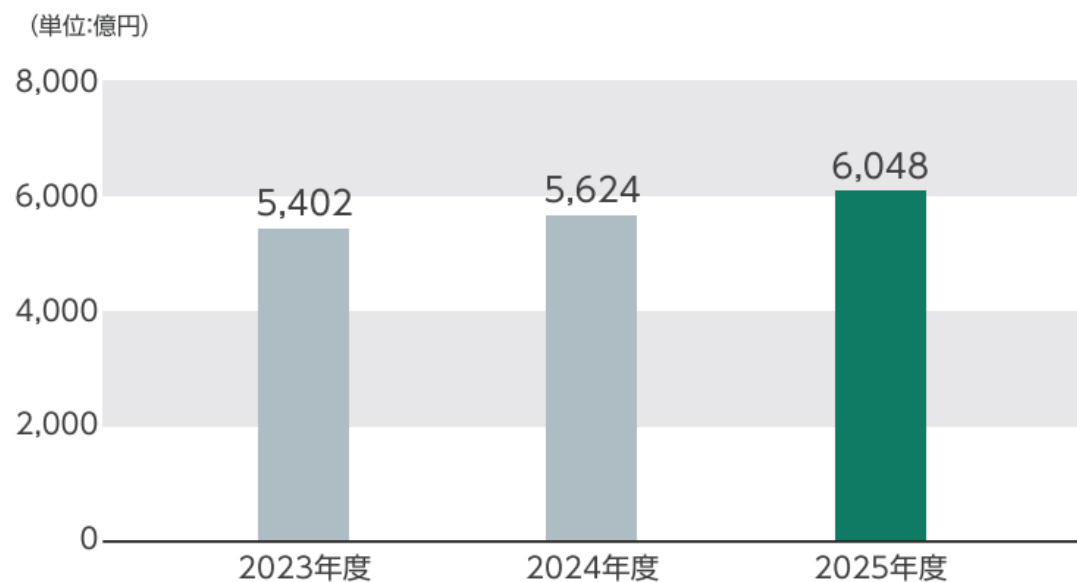
Growth for Sustainability 2028

Yokogawa's Purposeのもとに、

E・S・G（環境・社会・ガバナンス）の視点で事業活動に取り組み、

社会価値と企業価値の向上を実現させるための変革を加速させていきます。

<連結>



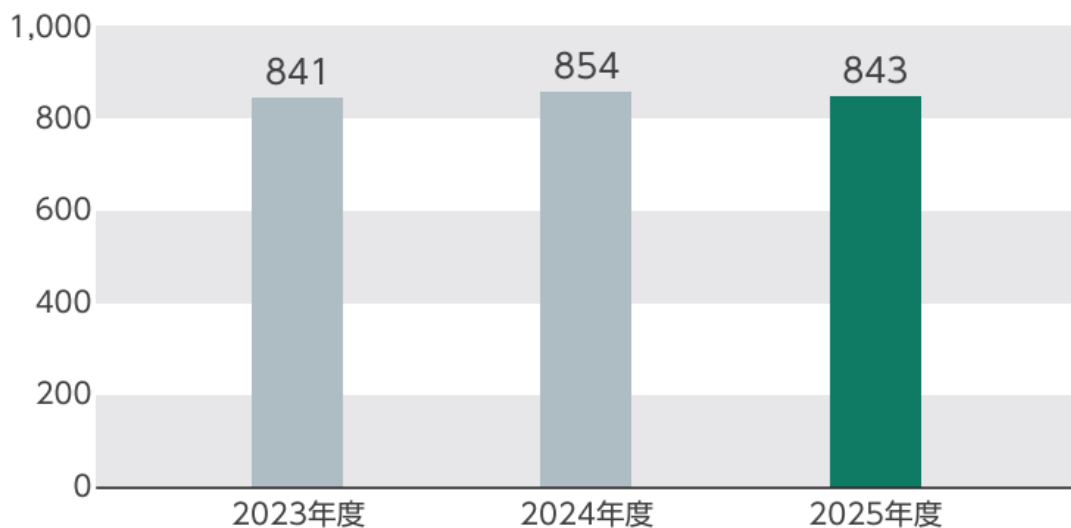
<連結>

経常
利益

842億 59百万円

(前期比 $\triangle 1.3\%$ 10億92百万円 減)

(単位:億円)

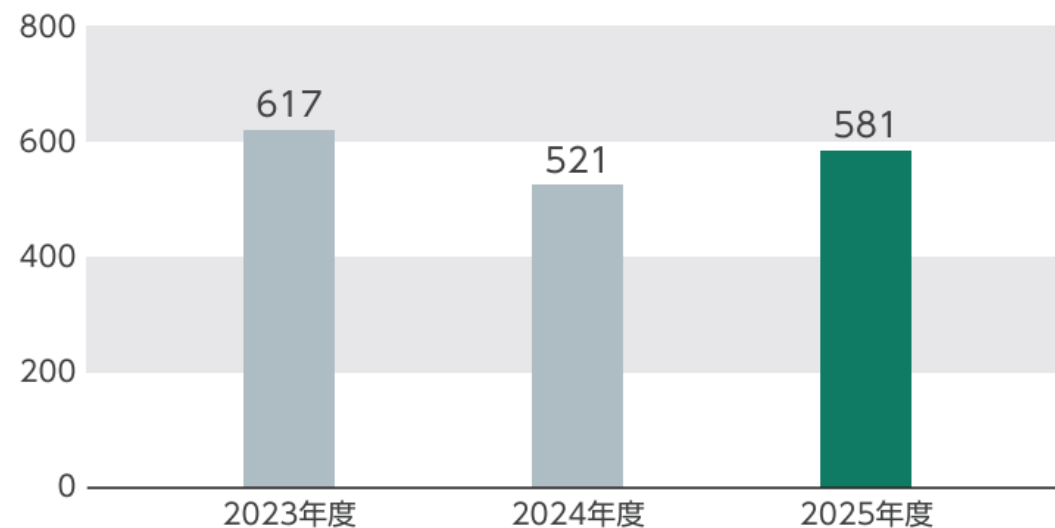


親会社株主に
帰属する
当期純利益

581億 13百万円

(前期比 $+11.5\%$ 59億89百万円 増)

(単位:億円)



■ Vision Statement

YOKOGAWAは、
自律と共生によって持続的な価値を創造し、
社会課題の解決をリードしていきます。

Through autonomy and symbiosis, Yokogawa will create sustainable value and lead the way in solving global issues.

YOKOGAWAが実現する操業の自律化は、生産性向上、リスクの回避、人の負荷低減や安全の確保に貢献します。

それは、組織や企業、産業を超える範囲で進められていきます。

YOKOGAWAが実現すべき産業界や社会の姿は、それぞれが自律しながらも連携した、共生型の産業界であり社会です。

それを実現し、持続的な価値を生み出していくことによって、

YOKOGAWAは社会が抱える課題の解決に率先して取り組んでいきます。

<2024年度>

・新中期経営計画「Growth for Sustainability 2028」を策定・発表



測る力とつなぐ力で、 地球の未来に責任を果たす。

**Utilizing our ability to measure and connect,
we fulfill our responsibilities for the future
of our planet.**

「測る」は、YOKOGAWAの原点であり起点です。ものごとを測り、今ある状態をとらえ、見通し、そこから導き出される情報に価値を見出してきました。また「つなぐ」は、YOKOGAWAが価値ある情報を結びつけるだけではなく、さまざまな産業におけるお客様との信頼関係を築き、企業と企業、産業と産業の結束点となって、さらに価値を共鳴させていくことを意味しています。

「測る力とつなぐ力」はYOKOGAWAが決して失うことのないコアコンピタンスです。その力を今日の社会課題の解決に生かし、人と地球が共生する未来をかなえたい、そうした思いを「地球の未来に責任を果たす」というコミットに込めました。

<長期経営構想>

達成を目指すサステナビリティ目標

社会インパクト指標	目標値
温室効果ガス排出量 Scope 1,2 (基準年：2019年度)	100%削減 (2040年度から2030年度に前倒し)
エネルギー使用量 (売上原単位) (基準年：2023年度)	30%削減 (平均5%改善/年)
社員のWell-beingを高める エンゲージメント	84%以上
ダイバーシティ・インクルージョンの 達成度：女性管理職比率	20%

注) これらは多くの指標・目標の中から特に重要と考えているものを表示しています。

<Growth for Sustainability 2028 (2024-2028年度) >

達成を目指す事業成長目標

指標	目標値
受注高成長	10%/年以上
売上高成長	10%/年以上
営業利益率(ROS)	15%以上 (2028年度)

想定為替レート (1米ドル) : 130円

<Growth for Sustainability 2028 (2024-2028年度) >

達成を目指す財務目標

指標	目標値
自己資本利益率(ROE)	10%以上 ^{*1}
投下資本利益率 (財務ROIC ^{*2})	10%以上 ^{*1}
1株当たり純利益 (EPS)	300円以上 (2028年度)
営業キャッシュ・フロー	3,000億円以上 (5年間累計)

※1 資本コストを上回る収益性を確保

※2 財務ROIC : {営業利益 × (1 - 法人税等負担率25%)} ÷ 投下資本(期首・期末平均)

新中期経営計画「Growth for Sustainability 2028」を策定

～Yokogawa's Purposeのもとに、環境・社会・ガバナンスの視点で事業活動に取り組み、社会価値と企業価値の向上を実現させるための変革を加速～

2024年5月7日発表

横河電機株式会社（本社：東京都武蔵野市 代表取締役社長：奈良 寿）は、2028年度を最終年度とする中期経営計画「Growth for Sustainability（グロウス フォー サステナビリティ）2028（GS2028）」を策定しましたのでお知らせします。

当社は2021年度に社会共通の課題の解決によって持続的な成長を実現するために、長期経営構想の抜本的な見直しとともに中期経営計画「Accelerate Growth（アクセラレート グロウス）2023（AG2023）」を発表し、2030年のYOKOGAWAのありたい姿の実現に向けて、2023年度までの3年間、社会共通課題を軸とした事業構造を確立するための取り組みを進めてきました。2024年度からの新しい中期経営計画「Growth for Sustainability 2028」では、AG2023で確立した業種軸の事業構造を基盤に、環境・社会・ガバナンスの視点で事業活動に取り組み、社会価値と企業価値の向上を実現させるための変革を加速させます。

長期経営構想
現在の長期経営構想は、AG2023策定時に抜本的に見直したものであり、今回は大きな見直しはありません。GS2028では2030年を見据えたYOKOGAWAのありたい姿を実現するために、その取り組みを進めていきます。

当社ウェブサイトもご参照ください。
<https://www.yokogawa.co.jp/>

**連結計算書類の内容報告につきましては、
招集ご通知の61頁、62頁を、
計算書類の内容報告につきましては、
招集ご通知の63頁、64頁を
ご参照ください。**

決議事項

剰余金の処分の件

- 期末配当金 1株につき **46円**

年間配当金は
中間配当金32円と合わせ
1株につき **78円**
(前期と比べ1株につき**20円増配**)

取締役11名選任の件

■ 取締役候補者11名

奈良 寿

重野 邦正

吉川 光

中嶋 倫子

内田 章

浦野 邦子

平野 拓也

五嶋 祐治朗

小野 傑

丸山 寿

クリスティーナ・アメージャン

Co-innovating tomorrow™

